

口腔維持系診療科

歯科麻酔疼痛管理科

病棟 東病棟 10F

外来 外来診療棟C 4F

連絡先 022-717-8352(外来)



科長
水田 健太郎 教授

主な対象疾患

- 手術室での口腔外科手術における全身麻酔管理
- 全身麻酔下歯科治療
- 外来での歯科治療・歯科小手術(抜歯、歯科インプラントなど)における麻酔管理
- 局所麻酔薬アレルギー検査

診療内容

1. 手術室での口腔外科手術における全身麻酔管理

口腔悪性腫瘍や顎変形症など侵襲の大きな口腔外科手術に対しては、全身麻酔管理が必要になります。当科では最新の医療機器を駆使して手術の侵襲を軽減し、気道を構成する口腔内手術に対し安全を最優先した麻酔管理を行っています。

また、全身麻酔を受けられる全ての患者さんに対して外来診察室で手術前の診察、麻酔の説明を行っております。患者さんの全身状態と手術内容を包括的に評価し、その時点で考えられる最適なものを十分に説明しております。

2. 全身麻酔下歯科治療

歯科治療に対する恐怖心や不安(歯科恐怖症)、異常絞扼反射(嘔吐反射)が強く通法での歯科治療の受容が困難な方、心身に障害をお持ちの方に対して、全身麻酔下に一括歯科治療を行っています。

3. 外来での歯科治療・歯科小手術(抜歯、歯科インプラントなど)における麻酔管理

静脈麻酔薬や亜酸化窒素を用いて患者さんの精神的ストレスを軽減し、より快適に歯科治療を受けられるようにしております。

4. 局所麻酔薬アレルギー検査

「以前に歯科治療で局所麻酔を受けたときに気分が悪くなり、局所麻酔薬アレルギーと診断され、以来歯科治療を受けられずにいる」という方がいらっしゃいます。実際にはこのような症状のほとんどは、血管迷走神経反射や、局所麻酔薬に添加されている血管収縮薬の作用と考えられています。しかしごく稀に、真のアレルギー症状を呈する患者さんもおられます。病歴から局所麻酔薬のアレルギーが強く疑われたり、局所麻酔薬の使用に強い不安をもつ方に対して、局所麻酔薬の即時型皮膚反応検査(プリックテスト、皮内テスト)を行っています。

診療体制

教授1名、助教3名で下記4診療を行っています。

1. 手術室での口腔外科手術における全身麻酔管理

月曜から木曜日は手術室2室、金曜日は手術室1室を用いて全身麻酔管理を行っています。また麻酔術前相談外来は火曜日から金曜日に歯科麻酔疼痛管理科外来で行っています。

2. 全身麻酔下歯科治療

木曜日に手術室1室を用いて行っています。

3. 外来での歯科治療・歯科小手術(抜歯、歯科インプラントなど)における麻酔管理

各歯科診療科の外来に歯科麻酔科医が出向いて行っています。主に月・木・金曜日に行っております。

4. 局所麻酔薬アレルギー検査

火曜日から金曜日に歯科麻酔疼痛管理科外来で行っています。

得意分野

当診療科の特筆すべき医療として、「全身麻酔下歯科治療チームの運営」が挙げられます。歯科治療に対する恐怖心や不安感が強い方、口腔内に治療器具が入ると嘔吐反射が生じる方々は通法の歯科治療の受容が困難です。このような方々の口腔は多数歯にわたる齶蝕・歯周病への罹患で崩壊しており、チームアプローチによる適切な対応が不可欠です。全身麻酔下歯科治療チームでは専門診療科が集結している大学病院の特徴を生かし、周術期管理は当科が、また歯科治療は複数科(保存系診療科/補綴系診療科/歯科顎口腔外科/小児歯科)の歯科医師が同時に治療に参画し、高品質な歯科医療を提供しております。全身麻酔下に一括して治療を行いますので、通院での治療に比べて治療回数を大幅に減らすことも可能です。

ご紹介いただく際の留意事項